

長尾台小学校区まちづくり協議会（コミュニティひばり）の取組み

コミュニティひばり 前田 幸夫

I 新しいイベントの模索

「ひばり祭り」は、当まち協を挙げて開催してきた地域イベントで、小学校や宝塚大学を借用して、音楽会や屋台形式で行ってきた。

令和2年度は新型コロナウイルスの感染拡大の影響で開催を断念したが、ITを活用した会議の運用などを模索しながら、再生復活を目指してきた。令和3年度以降はIT化推進で得たスキルを更にアップさせることと、キーワードとして少人数・分散・多世代交流・感動・達成感などをコンセプトに、多世代が楽しめる多彩なイベント開催に取り組んだ。なお、この事業は市のきずなづくり推進事業等の助成を得て行われた。

1]令和3年「わが町の景観を織りなすわが町の歴史」をテーマとしたイベント

1)歴史講演会の開催

令和3(2021)年10月9日、「わが町の景観を織りなすわが町の歴史」をテーマとする歴史講演会を三部構成で開催した。

- ① 「雲雀丘・花屋敷近辺の住宅地開発について」講師：直宮憲一氏（郷土史研究家）
- ② 「満願寺と栄根寺廃寺」講師：岡野康隆氏（郷土史研究家）
- ③ 「日本初の無軌道電車が走ったまち」講師：森五宏氏（NPO KOARA 理事長）

会場は、メイン会場とサテライト会場、オンライン視聴を併用。令和2年から始めてきたIT機器を導入した会議などの積み重ねで、機器の整備、オンラインシステムの構築、スタッフのスキルアップ、広報などの試行錯誤しながら取り組んだ。

参加者数は、メイン会場15名、サテライト会4箇所114名、オンライン視聴12名の合計141名。オンライン視聴者の中には、東京や奈良在住者もいた。講師の印象やアンケート結果も好評で、何とか当初の計画を実現できた。

講演の記念として、子ども達にもわかりやすい内容の冊子年度末に発刊し、小学生及び地域、関係団体等に配布した。



図1 歴史講演会 メイン会場



a 雲雀丘倶楽部



b つつじが丘公園

図2 歴史講演会 サテライト会場



図3 歴史講演会記念誌 2021

2) スタンプラリーの開催

同年10月10日～21日には、地域内10か所のポイントを巡りスタンプを押印、スポットごとに用意したクイズに答えて、コンプリートしたらプレゼントを進呈するもの。ファミリー連れを中心に約150組が参加。同じ校区に住んでいながら知らなかったスポットが意外と多いことや、この地域の魅力を再認識できる機会となった。期間中、山崎市長の訪問を受けた。



図4 スタンプラリー
(北雲雀きずきの森)



図5 スタンプラリー（高碓記念館）
市長もスタンプGET

2] 令和4年 「いごこちの良い景観再発見」をテーマとしたイベント開催

昨年度に引き続き、その第二弾として「いごこちの良い景観再発見」をテーマにスケッチ展、フォトコンテスト、新ひばり祭り、歴史講演会 Vor2 を開催した。

1) スケッチ展

10月15・16日、地域のおお気に入りスポットを題材にしたスケッチ展を開催した。5歳児から後期高齢者までの10名11作品の応募があった。いずれも力作で、新ひばり祭りに合わせて作品展を開催した。

募集に先立ち、夏休みすぐに小学生以下を対象にワークショップを開催。10組の参加があり、応募作品の確保につながった。



図6 スケッチ展



図7 スケッチワークショップ

2) フォトコンテスト

スケッチ展と同じコンセプトで、フォトコンテストの作品展示を行った。フォトコンテストは、気軽に参加できるようにInstagramでの投稿をメインとした。投稿作品は25名から156点にのぼり、グランプリ1点・優秀作品4点の計5点を選定。ひばり祭りに合わせて展示および表彰式を行った。スケッチ同様に夏休み中に小学生以下を対象とした写真撮影のワークショップを開催し、6組の参加者があり、そのうち1名が優秀作品賞に輝いた。



a グランプリ
[桜の咲くころ]
投稿者:soramilk (18 歳)



b 優秀作品賞の1つ
[夢のような家]
投稿者:usagi (6 歳)

図8 フォトコンテスト入選作品

3)新バージョン「ひばり祭り」の開催

小学校を借用しての「ひばり祭り」が復活した。今回は、雨天対応のしやすい体育館で、規模を縮小し、内容も大幅に変更して、午前中はゲーム大会、午後はまちかどコンサートとし、若干のフリーマーケットと防災非常食試食などを併せて開催する形式をとった。

1) スローイングビンゴ大会

スローイングビンゴ*は、ルールや準備が簡単で、5人程度のグループでトーナメント形式で実施した。事前申込が10組、当日参加が1組（小学生の5人組）、合計11組が参加。殆どの参加者が初めてで、枠の中にサンドレットが思うように入らず悔しがったり、上手く入ると観客からも大きな拍手が。中には、上手く入らず泣き出す子供もいたが、徐々に盛り上がっていった。参加賞や優勝商品などを贈呈した。

*「赤」「白」のサンドレット（砂袋）を交互にビンゴシート（5×5の枠）に投げ、早くビンゴを作るゲーム。



図9 スローイングビンゴ



図10 フリーマーケット

2) まちかどコンサート

地域の音楽愛好家や音楽教室に声をかけて出演者を募り、箏・ピアノ・クラリネットなど個人やグループ計12組が演奏に参加した。当初は出演者が集まるか不安があったが、「コロナ禍で発表する機会が無くなって、いい機会です」と快く出演していただける方が多かった。



図11 まちかどコンサート



図12 防災テント展示・授乳コーナー

4) [わがまちの景観を織りなす歴史]～古代ロマン編～講演会の開催

昨年引き続き歴史講演会を開催した。今回は、

- ①「古墳時代の最明寺川流域」講師：岡野康隆氏（郷土史研究家）
- ②「長尾山丘陵における前方後円墳の調査」講師：福永伸哉氏（大阪大学教授）

の二部構成で、昨年同様にメイン会場とサテライト会場・オンライン視聴を併用した。参加者は合計 114 名で、盛況であった。年度末に記念誌を発行し、小学校・地域・関係団体等に配布した。



図 13 歴史講演会資料映像



図 14 歴史講演会記念誌 2022

3] 振り返って

今回の経験で感じたこと。

- 変化を恐れない。変化は新たな歴史を創り出す！
- IT 化。課題が多いが新しい人材が現れる！
- 継続は力、新たな地域の力を生み出す！

II 当面の課題

<コミュニティセンターの施設設備の補修・維持管理について>

コミュニティセンターは築 25 年を経過し、老朽化・劣化が進んでいる。施設は市の所有物で、賃貸契約を締結して使用している。契約書の維持管理等に関する条項として

- 第 12 条 「乙は、電気、ガス及び水道の光熱水費並びに軽易な修繕等維持管理に要する費用を負担する」

- 第 15 条 「乙は、この契約に定めるもののほか、地方自治法及び同施行令並びに市有財産に関する甲の例規その他の法令の定めるところに従うものとし、この契約の各条項の解釈について疑義を生じたときは又はこの契約に定めのない事項については、甲の指示に従うものとする」

があり、当まち協では早期にその扱いについて協議を進めるためプロジェクトチームを設置した。

については、他のコミュニティセンターでの状況について情報提供をお願いしたい。

以上